



組織横断的な検討と 事業評価の手法により メリハリのある予算に

「予算編成に当たり、どのような点に配慮しましたか。」

「組織横断的に検討を加える手法を採用するとともに、中

長期的な展望を踏まえ、厳しい目で一つ一つの事業を評価した点です。そして、重点政策課題（詳細は次頁以降）に挙げた六項目に沿って、メリハリのある予算配分となるよう心掛けました。

また、緊急性の高い事業に

は、市の貯蓄に当たる財政調整基金を四十二億円取り崩すことで、積極的に予算化しています。

社会経済状況には深刻なものがありますが、未来に向けて何とかが明るさを見出したい、そんな姿勢を予算に含ませたいつもりです。

「今年は、注目のスポーツイベントが、いよいよ開催されますね。」

「はい。六月に開催されるIFAワールドカップ™は、本市にとってオリンピック以来三十年ぶりとなる世界的なビッグイベントです。期間中、選手や報道陣、観客を含め十

万人を超える人が街に活気を与えてくれるでしょう。」

今年度予算の重点政策課題の一つに「経済の活性化」を掲げており、この中で、観光やコンベンション（多くの人が参加する会議・祭り・イベントなど）などの集客交流産業の振興に力を入れていきます。産業に占めるサービス業の割合が高い札幌に、大きな経済波及効果をもたらす集客交流産業の活性化は、地域経済を力強くけん引する原動力になると期待しています。

「では、最後に市民の皆さんへのメッセージを。」

「地方分権が進み、本格的な市民自治の時代を迎えました。その一方で、国・地方を通じて、財政状況は急速に悪化するなど、自治体の都市経営も難しいかじ取りを迫られています。私は、今後の都市経営は、市民の皆さんとの「協働」が

重要なカギになると考えています。そこで、現在、「協働型社会」の実現に向け、新たな都市経営の基本方針づくりも行っています。」

「今後とも市民の皆さんと手を携え、街づくりに取り組んでいきますので、市政への一層のご理解とご協力をお願いします。」

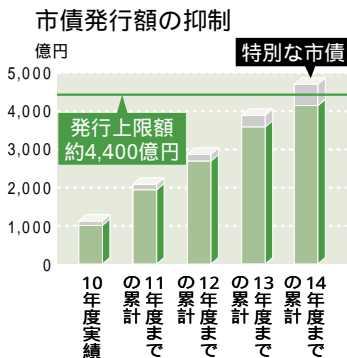
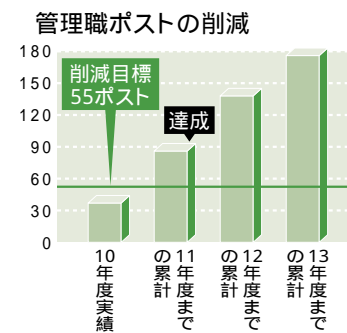
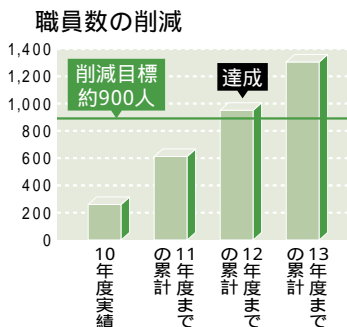
「新年度の主要事業の詳細については、次ページ以降で紹介いたします。なお、名称・数字には、仮称・予定数字が含まれています。」

「市債発行抑制の目標は達成が困難な状況ですが、この中には、地方交付税の不足分などを振り替えた特別な市債が含まれています。」

平成14年度当初予算の規模 (単位:百万円・%)

区分	平成13年度	平成14年度	増減額	増減率
一般会計	849,700	827,150	22,550	2.7
特別会計	404,732	402,893	1,839	0.5
企業会計	314,133	313,088	1,045	0.3
総計	1,568,565	1,543,131	25,434	1.6

行財政改革推進計画 (数値目標への取り組み状況)



13・14年度の数字は予定です。

今年の予算
ここに注目!



IT経営戦略を推進 関連事業費は 73億5千万円

本市では、IT（情報通信技術）を積極的に活用した行政運営を推進するため、昨年三月にIT経営戦略を策定しました。具体的な目標として、「市民サービス向上」「産業振興」「行政改革」の三つを掲げています。

今年度予算では、重点政策課題の共通事項として積極的な予算配分を行った結果、IT関連事業費については、前年度比三一・七%増となっています。

特に、今年度は市民サービスの向上につながる事業として、広報さつぽろに掲載している情報などの問い合わせに早朝・夜間も対応できる「コールセンター」を開設するほか、各種申請書を手でできるホームページ開設に取り組みます。これらの事業の実施に当たっては、CRMの考え方を取り入れて、より要望にあったサービス提供に努めていきます。

カスタマー・リレーションシップ・マネジメントの略。意見・苦情などを含めた顧客情報を一括管理していく経営手法。それらを解析することで、最適なサービスを提供していくというもの